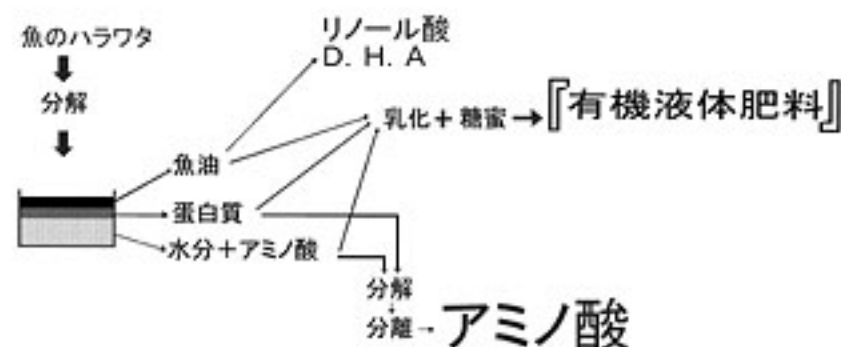


自己崩壊酵素の活性化による有機液体肥料の製造技術

〔技術・製品の概要と特徴〕

魚や魚のハラワタ、動物の死骸などの自己崩壊作用を促進し液状に分解して水溶性にし、廃糖蜜などを加えることで液体肥料にする技術。自己崩壊酵素が最も活性化する温度での分解を実現した。製造過程でアミノ酸、リノール酸、DHAなども抽出できる。

液体肥料は蛋白質、脂肪、糖質およびミネラルを多く含み微生物培養液に近い。また農地生態系を崩さず、農薬や無機肥料による土壌汚染を防げる継続可能な農業を実現できる。



〔用 途〕

- (1) 人と環境に優しく、持続可能な農業用肥料
- (2) 農作物の品質と収穫の向上を実現する肥料

〔希望する技術移転の(1)形態・(2)相手先・(3)地域〕

- (1) 特許実施権供与
- (2) 企業規模不問
- (3) 国内・海外いずれでもよい

〔開発段階〕

製造・販売実績 (有)
関連特許 (有・出願中)

〔提供可能資料など〕

技術資料、パンフレット、特許公報